

# 諸外国におけるARI/ILI定点の設置・基準等の状況

	患者の把握方法 (症例定義 ※1)	定点数		定点機関の 特徴	検体又は病原体 の収集方法	検体又は病原体の 定点あたり収集数等	検体又は病原体について 検査を実施しているウイルス	ARI/ILIのほか、 他のサーベイランス 体制の有無 ※2
		ARI	ILI					
米国	ILI	-	3,400	GP※3	一部の定点 から収集	州により異なる ※4	州により異なる ※4	○
英国	ILI	-	1,000	GP	一部の定点 から収集	流行開始時は2～3検体/週, 流行ピーク時は最大20検体/週	インフルエンザウイルス, RSV,COVID-19	○
フランス	ARI / ILI	305	183	GP	一部の定点 から収集	その週の最初の症例から収集	インフルエンザウイルス, RSV,COVID-19	○
ドイツ	ARI	800	-	GP	一部の定点 から収集	年齢階層を考慮し, その週の最初の症例から収集	インフルエンザウイルス, RSV,COVID-19	○
スペイン	ARI	213	-	GP,小児科医	全ての定点 から収集	2～5検体/週	インフルエンザウイルス, RSV,COVID-19	○
スウェーデン	ARI / ILI	80	80	GP,感染症医	全ての定点 から収集	最大5検体/週	インフルエンザウイルス, RSV,COVID-19	○
ベルギー	ARI / ILI	83	83	GP	一部の定点 から収集	2検体/週	インフルエンザウイルス, RSV,COVID-19	○
デンマーク	ILI	-	150	GP	一部の定点 から収集	2検体/週	インフルエンザウイルス, RSV,COVID-19	○
オーストラリア	ILI	-	250	GP	一部の定点 から収集	全ての症例から収集	インフルエンザウイルス, RSV,COVID-19, その他呼吸器ウイルス	○
日本 (現在)	「インフルエンザ」 としてILI及びイン フルエンザを把握	-	5,000	内科や小児科標榜 する診療所,病院	一部の定点 から収集	流行時は1検体/週, 非流行時は1検体/月 (諸外国と比較し,インフルエンザウイルス の収集数としては多く収集している)	インフルエンザウイルス	○
日本 (ARI導入後)	ARI	3,000	-	内科や小児科標榜 する診療所,病院	一部の定点 から収集	(検討中)	インフルエンザウイルス, RSV,COVID-19, その他呼吸器ウイルス	○

※1 WHOによるARI及びILIの定義

ARI: 咳嗽,咽頭痛,呼吸がしにくい,鼻汁といった呼吸器症状を急性に発症し,医師が感染症を疑うもの

ILI: 38度以上の発熱と咳嗽を伴う急性呼吸器感染症を10日以内に発症したもの

※2 ARI/ILIのほか,他のサーベイランスを重層的に実施している場合は「○」と記載. 例えば, ERセンターを対象にしたサーベイランス(米国・英国)や,各国における大学等の研究機関が実施するサーベイランス等がある.

※3 GP (General Practitioner) は,内科,外科,小児科,婦人科,皮膚科等の分野について診察できる医師を指していることが多く,日本でいう「かかりつけ医」のような意味がある.

診察を希望する患者は,事前に登録したGPに予約を行い受診する.

※4 米国における検体又は病原体を用いた病原体ゲノムサーベイランスは,州により体制が異なり実施していない州もある